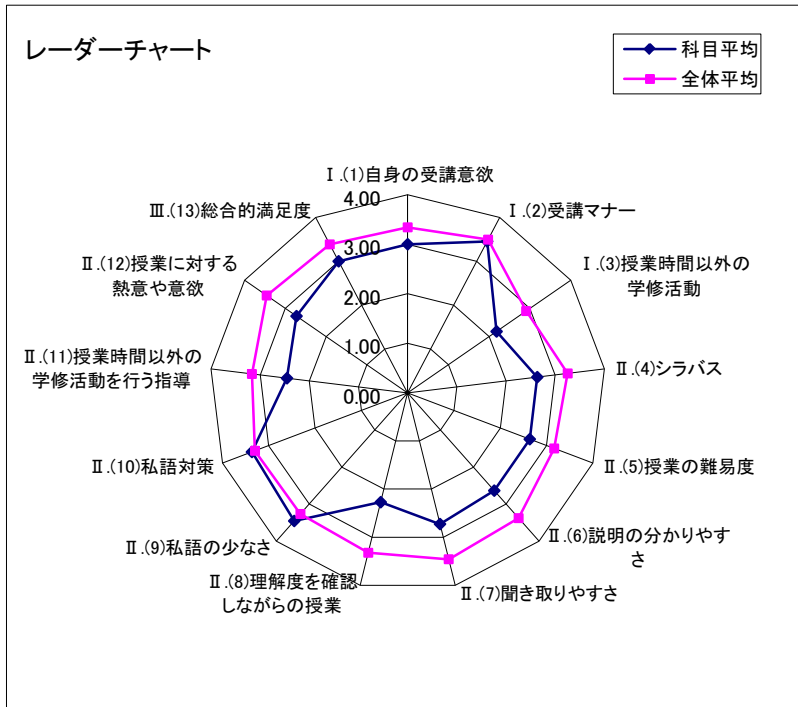
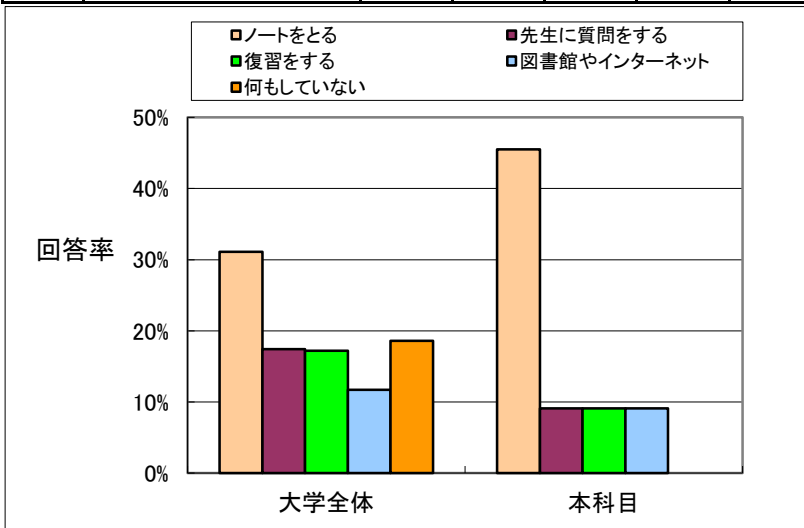


# 講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14)	授業を理解するための工夫	45.5	9.1	9.1	9.1	0.0



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.00	3.34
	I.(2)	3.45	3.49
	I.(3)	2.18	2.91
講義内容・方法	II.(4)	2.64	3.26
	II.(5)	2.64	3.16
	II.(6)	2.64	3.38
	II.(7)	2.73	3.46
	II.(8)	2.27	3.32
	II.(9)	3.45	3.27
	II.(10)	3.36	3.30
	II.(11)	2.45	3.17
	II.(12)	2.73	3.46
	総合評価	III.(13)	3.00

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	2.88	3.25
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	2.77	3.31
II.(4)~(12)		
総合評価	3.00	3.39
III.(13)		

# アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	1362
科目名	オペレーティングシステム/オペレーティングシステム I
教員名	

## ①授業計画の達成度について

本学の学生にとって、大多数の学生は、オペレーティングシステムと云う言葉を初めて耳にすることであろう。まして、数学を苦手とする学生に、本来のスケジュールリングや、アルゴリズムから生じる、オペレーションを講義するのは、至難の業である。これを、人間の日常生活に密着した習慣や動作から、その行動や、習慣が実は、機械の動作、コンピュータの動き等どのように関係があるのか、また、コンピュータのプログラムに、どのように関わって行くかを分かりやすく述べなければ、学生の理解は得られない。そこで、アンケート結果から、質問5では、90%以上の学生が、難しいと感じているが、上記のように話をすることにより、質問6~9では、半数以上の学生が、分かり易いと答えている。この結果から、自己評価としては、満足のいく評価を与えたい。

## ②授業の進め方について

質問1~4では、学生が、この講義に対しての取り組みに関してである。出席と意欲に関しては、この講義が、学生の筆記を主体としており、サポート、その部分が、かなり抜けてしまうので、あとからの補充が厳しくなる様子がうかがえる。

質問5~9では、教員の講義内容に関する評価である。難しいと感じている学生が、多くいるが、説明や、話し方、理解度の認識、教員の熱意に関しては、半数以上満足であるという学生がいる。これは、講義としては、一応及第点が与えられたと解釈する。

質問10~12は、私語対策及び、講義の満足度である。学生の私語は少なく、対策に関しても行っているが半数以上であることは、多分、彼らの時間が、筆記にかなり割かれているからだと思う。満足度に関しては、半数が満足。これは、多分に、筆記に不満が表れているからだと思う。全体的に見ての評価に対する思いは、満足のいくものである。

## ③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

この講義では、筆記を主体としている。最近の学生は、ノートを取ることにしない学生が多くみられる。講義の中でも、自分は、よく話題にすることだが、「仕事をするうえで、問題点や、ヒントなどを忘れず、確実にするためと、考えをまとめるために、何時も、メモをとることを勧める」と。とくに、学生には、社会に出たときに、メモを取る癖をつけ、文章作成を避けないようにするためでもある。また、筆記内容を、プリントアウトにすると、読まずに試験時のみを目を通すと云う事で、講義内容が、身につかないからである。筆記量が多いという学生がいるが、筆記するポイントと、単語を記述するのではなく、文章を記述する方法を指導して、講義を進めるようにする。こちらからの質問を増やして、学生の理解度をもっと掴みながら、講義を進めていく努力をしよう。少し、講義量が少なくなるが、深い理解を求めるために。